

会 議 記 録

市民参加協働部 市民参加・協働推進課

開催日	平成 26 年 1 月 22 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 11 時 30 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 25 年度第 10 回)		
出席者	荒井委員、荒木委員、石井信子委員、岩木委員、石井真奈美委員、岩下委員、上原委員、斉藤委員、新谷委員、寺島委員、長岡委員、西川委員、牧野委員、宮下省二委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員) 西澤委員、宮下千元委員、山崎委員 (事務局) 池田地域振興政策幹、小泉市民参加・協働推進課係長、堀内市民参加・協働推進課主査 (説明者) 橋詰ごみ処理広域化推進室長、山浦ごみ処理広域化推進担当係長 倉島資源循環型施設建設関連事業課長補佐 石井廃棄物対策課長補佐兼リサイクル推進係長		
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ おはようございます。年が明けまして、20 日以上が過ぎていますが、皆様におかれましては良き新春をお迎えになったと思います。いろいろな問題が山積しておりますが、第 4 期の任期もあと 3 回で終わります。任期満了まで宜しくお願いしたいと思います。今日はゴミの問題について取り上げていきたいと思います。 3 協議事項 会長： ではゴミの減量化についてお忙しい中、市の担当の方が見えております。お話をきいて、これからの地域の活動に役立てていただきたいと思います。それではよろしく願いします。 廃棄物対策課： ゴミの減量化についてということで資料をお配りさせていただいておりますのでそれにそって説明させていただきます。 (資料を基に説明) 会長： ありがとうございました。ただいまの説明で何か質問ある方いますか。		

委員： 一人当たりの1日のゴミの量を示すグラフがありますが、長和町、東御市、青木村と比べ上田市は差がありますが、なぜだと思われますか。

廃棄物対策課： 地域性に原因があると思います。1年間に搬入されたゴミの量を単に人口で割った数字ですが、企業や事業所からのゴミも含まれています。上田市は事業所も多いですので、1人あたりが多くなっているのも一つの要因かと思います。

委員： 家庭用生ゴミの減量においては、以前処理機やパッキンにするなど市より補助がありました。今はどうですか。

廃棄物対策課： 現在も補助制度はあります。3種類ありまして電気式の生ゴミ処理機等の機械物については1/2の補助で限度額3万円、容器等については購入価格の1/2の補助で限度額3千円、パッキンについては200円の補助がありますので、是非ご利用いただきたいと思います。

委員： 以前は業者が生ゴミ処理機を家庭に持って説明に来たり、補助が出るという情報を多く耳にしりましたが、今はゴミ処理について全く情報がないですね。PR不足ではないですか。

廃棄物対策課： 時々広報等に載せてはありますがご指摘の通りだと思います。皆さんに分かりやすくPRしたいと思います。

委員： ゴミ袋の有料化になって、実施前と後ではゴミの量の差はありましたか。

廃棄物対策課： 平成8年7月よりゴミ袋有料化を実施しました。実施後の1、2年は減少しましたが、その後増加し、現在は元に戻っています。

委員： 可燃ごみの中にプラスチックを少し入れた方が軽くなって良いと聞いたことがあります。実際どうですか。

廃棄物対策課： 時々そういう話を聞きますが、プラスチックを入れると炉の中が高温になり、炉の傷みが激しくなるので入れていただかない方がいいです。

委員： 資源ごみとして扱うべき雑紙（トイレットペーパーの芯、菓子箱等）も可燃ごみに入れて出している家庭が多いと思います。山形市で例があるようですが、各家庭に袋を配って資源ごみを回収するようになれば可燃ごみ減量になると思いますが、モデル地区を作って、とりあえず実施するという方向になるのでしょうか。

廃棄物対策課： 平成 25 年度の予算で、試験的に行う雑紙の回収袋の予算を認めていただきました。まずは全市の家庭を対象に試験を行い、状況分析をしたいと考えております。私共の新たな取り組みとして、皆様の協力の下進めてまいりたいと思っております。

委員： 自治会の収入源でもある資源ごみの回収率が年々下がってきて、スーパーのポイント制の方がいいとそちらへ持っていかれる方が多くなっています。市より奨励金のようなものがあれば少し違うかと思いますが検討いただきたいです。

廃棄物対策課： 現在確かにやっているスーパーが多くなっています。やっていただくこと自体は悪いことではありませんが、自治会としての状況踏まえ、自治会で行なった時の還元等の流れを合わせて PR したいと思えます。

会長： ありがとうございます。では続いてお願いします。

ごみ処理広域化推進室： 資源循環型施設建設についての説明をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。（資料を基に説明）

会長： ありがとうございます。ただいまの件でご質問ある方いますか。
ゴミは生活する上で毎日出る身近な問題ですので、様々な状況ではありますが、前向きに取り組んでいきたいと思えます。
それでは続いて 1 月 31 日に提言するにあたり、部会での主旨説明をお願いします。

第一部会： 「農地の保全と活用について」をテーマとして研究調査して参りました。そしてこれには耕作放棄地、遊休農地の現状把握が必要不可欠ということになり、調査した結果を意見書に載せてあります。

第二部会： 「公共交通機関の利便性向上」について調査してきました。高齢化が進むにあたり、買い物等出掛ける際に公共交通機関を上手に使っていただきたいと思え、まずは住民の方へアンケートを検討したうえで地域の皆さんにお願いし、そ

の結果をまとめ意見として次年度以降に提案するつもりでいます。

第三部会： 「城南地域内の保育園の整備について」ということで進めてまいりました。実際に保育園を視察してみると、駐車場の整備や男性保育士の増員等、様々な課題が挙げられたので、それらの課題等をまとめ、研究結果として提案していきたいと思います。

第四部会： 「地域内分権の推進と実行」をテーマに掲げておりますが、まだまだ先の長い話で、具体的なイメージがみえてこないのが実際な所ですが、市長へというよりも主管部でもある市民参加協働部に対して、地域経営会議を設置するメリットは何か、もっとPRが必要ではないのか等、現段階で我々が検討した意見を集約して提案したいと思います。

会長： ありがとうございます。主旨説明をしていただきましたが、何かご意見のある方いらっしゃいましたらお願いします。

委員： 提言するにあたり、以前は何回か意見交換をして、修正しながら意見書としてまとめたと思いますが、今回は他の分科会の内容がよくわからない状況で、今まで研究した内容がきちんと載せてあるのか、これでいいのかといった疑問をもちました。

会長： 今回は時間の関係もあり、なかなか全体会での意見交換の場が持てませんでしたが、部会長会等では話し合っております。また各分科会で現地視察をしておりますので、それを協議し集約していただいた提案なのでこの場で何かあれば、ご意見をいただければと思います。

広報委員： 次に、城南かわら版ですが、第8号として3月16日に発行予定です。会長のご挨拶や各部会の提言のまとめについて載せたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

事務局： お手元にわがまち魅力アップ応援事業募集要項をお配りしてあります。申し込みが1月27日～2月21日までとなります。3月にまた皆さんに審査をしていただきますのでよろしくお願いします。

会長： 本日は以上で終了します。お疲れさまでした。

4 次回会議の開催と日程について

第 11 回城南地域協議会 平成 26 年 2 月 12 日（水）

第 12 回城南地域協議会 平成 26 年 3 月 26 日（水）

5 閉会